大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

1 概要

ドラッグストアを新設する(法第5条第1項)

2 届出の内容

2 油山の内谷								
届出年月日	令和3年11月15	日						
店舗	店舗名称	(仮称)ドラ	ッグコスモス中岩田店					
卢畊	店舗所在地	愛知県豊橋	市中岩田五丁目1番4 他					
	名称	株式会社コ	スモス薬品					
設置者	代表者	代表取締役	:横山 英昭					
	住所	福岡市博多	·区博多駅東二丁目10番1号 第一福岡ビルS館4階					
	その他	なし						
	名称	株式会社コ	スモス薬品					
) 小売業者	代表者	代表取締役	代表取締役 横山 英昭					
小元未日 	住所	福岡市博多	福岡市博多区博多駅東二丁目10番1号 第一福岡ビルS館4階					
	その他	なし						
店舗面積	1,202 m²							
	駐車場	位置	別紙図面のとおり					
	向工 工 物	台数	39 台 (指針台数: 39 台)					
	駐輪場	位置	別紙図面のとおり					
 施設の配置	尚工半冊 2 夕	台数	16 台					
心設の配置	荷捌施設	位置	別紙図面のとおり					
	19.1加加改	面積	35 m ²					
	廃棄物	位置	別紙図面のとおり					
	保管施設	容量	13.5 m ²					
	営業時間	開店	午前9時					
	当 未时间 	閉店	午後9時45分					
 施設の運営	駐車場利用	時間帯	午前8時30分から午後10時まで					
心故の理名	駐車場出入口	数	3箇所					
	社里场山八口	位置	別紙図面のとおり					
	荷捌時間帯		午前6時から午後10時まで					
新設する日	令和4年7月16E	3						

3 参考事項

敷地面積	2,821 m ²		
建築面積	1,345 m ²		
延床面積	2,623 m ²		
業態	住·生活関連品専門店		
用途地域	第2種住居地域	_	_
備考			

4 基本的配慮事項

配慮事項	記述事項
(1) まちづくり計画の検討	都市計画等について情報収集し、検討します。
(2) 深夜営業の対応	深夜営業は行いません。
(3) 住民説明会の開催	立地法の説明会とは別に、隣接民家へは個別説明を行います。
(4) テナントの履行確保	設置者と小売業者が同一のため、不要
(5) 責任者の任命	店長が責任者となり、遵守に努めます。
(6) 予測乖離時の措置	関係行政機関と協議のうえ、解決に向けて必要な措置を検討します。
(7) 通年の臨時措置	多客の予想される繁忙時には交通整理員を配置します。
(8) 開店時の臨時措置	交通整理員を配置します。

- 5 施設の配置及び運営方法に関する事項
 - 1 駐車需要の充足・周辺地域の利便確保のための配慮
 - (1) 交通に係る事項
 - ア 駐車場の必要台数の確保
 - (ア) 小売店舗の必要駐車台数
 - a 指針による算出

行政人口	店舗面積S	日来客数 原単位A (人/千㎡)	ピーク率B	駅からの距離 (商業系地域 の場合)	自動車分担率C	平均乗車 人員D	ピーク1hの 来台車数F S/1000×A×B×C/D	平均駐車 時間係数G	必要駐車台数 F×G
373,252人	1,202 m ²	1,064	14.40%	700 m	70.00%	2.00 人	64 台	0.61	39 台

総駐車場台数	従業員等駐車場台数	_	業務用駐車場台数	_	搬出入用駐車場台数	併設施設駐車場台数	_	来客用駐車場台数	評価
52 台	13台		0台		0台	0台	_	39 台	0

イ 駐車場の位置及び構造等

1平面自走オペレーター:無	2平面自走オペレーター:有	3機械式駐車場	共用駐車場数	ピーク1hの来台車数
1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	64 台

ウ 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

		MT - 201	<u> </u>		. "91111			<u> </u>				
	種	別 1		39 台	歩行者動線	分離	騒音配慮	アイドリン		マ配慮 アイドリ		土
平		出入口数	道路種別	道路幅員	歩道	交差点距離	駐車待スペース	予測来台車数	道路形態	入出庫方法	整理員	評価
面	東	なし	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	西	なし	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
駐	南	1箇所	市町村道	8m	なし	60m	-	45	双方向	左折のみ	あり	0
車	北	2箇所	市町村道	15m	あり	45m	-	19	双方向	左折のみ	あり	0
場	交通	整理員等の	配置 年間を	通して混	雑する時	期のみ	配備					

	駐車場法の基準	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理
評価	0	0	0	0	0

エ 周辺交通状況の把握

**************************************	:-:=		
交通量調査	来客車両等の方向別予測	店舗周辺状況調査	交通流動の予測
実施	実施	実施	実施(交差点需要率等の検討)

(ア)交差点需要率等の検討

		休日			平日			
		現況	開店後	評価	現 況	開店後	評価	
地点1	需要率	0.213	0.233	0	0.233	0.244	0	
岩田交番南西	将来交通量/可能交通容量	0.449	0.475	0	0.421	0.422	0	
交差点	ピーク時間帯		11時台			17時台		
地点2	需要率	0.270	0.296	0	0.329	0.369	0	
中岩田1丁目	将来交通量/可能交通容量	0.548	0.629	0	0.598	0.719	0	
交差点	ピーク時間帯		11時台			17時台		
地点3	需要率	0.396	0.417	0	0.540	0.553	0	
豊岡中学校南西	将来交通量/可能交通容量	0.616	0.644	0	0.727	0.727	0	
交差点	ピーク時間帯		11時台			17時台		

※周辺道路の混雑を回避するための対策等 オープン時、繁忙時には、状況に応じて交通整理員を配置します。

オ 駐輪場等の確保等

オー駐輪場等の催保等						
	建物東側に1箇所					
	16 台					
標準収容台数	35 台					
予測台数	13 台					
	計画店舗の必要駐車 査結果及び過去1年 果、必要駐輪台数に スを確保する計画で ■既存店舗における駅	間のレジ通 は13台となり です。 注輪場滞留台	過客数実績(ますが、計画 数の実態調査	直を用いて算 施設には16 結果	出しました。 台分の駐輪ス	その結
	調査場所:ドラック	<u>ブコスモス花中</u>			橋店	
			駐輪場滞留			
	時間帯	ドラッグコスヨ		ドラッグコスモ	Eス道徳橋店	
		令和3年 8月8日(日)	令和3年 8月6日(金)	令和3年 8月9日(月·祝)	令和3年 8月24日(火)	
	10:00~11:00	3	1	1	1	
	11:00~12:00	3	1	1	8	
	12:00~13:00	1	4	2	6	
	13:00~14:00	2	2	2	5	
	14:00~15:00	0	5	1	5	
収容台数根拠	15:00~16:00	1	1	2	4	
	16:00~17:00	2	2	2	4	
	17:00~18:00	1	4	4	2	
	18:00~19:00	2	5	3	1	
	19:00~20:00	1	4	1	2	
	20:00~21:00	2	3	2	3	
	■年間最多客数日の最大滞留台数(必要収容台数) =[実態調査日の最大滞留台数]×[実態調査日と年間最多来客日の来客比率] ×[計画店舗と既存店舗の店舗面積比率] により計算すると、					
		·和3年8月8日('日)·3台×11	64 × 1 ≒ 4 ←		
	令和3年8月6日(金):5台×1.267×1≒7台 (道徳橋店) 令和3年8月9日(月・祝):4台×1.205×1≒5台					
		和3年8月24日 和3年8月24日				
	_で ゆえに、計画店舗の必			000 ^ 1 13 <u>-</u> .		

位置評価	台数評価
0	0

カ 自動二輪車の駐車場の確保

	75 日 均 — 抽 十 5 % 干 7 6 7 作 休								
	自動二輪車駐車場の確保	確保	収容台数	2 台					
ľ	位置及び箇所	建物東側に1箇	=	<u> </u>					
L		年初不同に回	71						

位置評価	台数評価
0	0

キ 荷捌施設の整備等 (ア)荷捌施設の整備

停車位置	専用出入口·通路	面積	営業時間外の搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	混在	35m²	あり	15分	1台	1台	0

(イ)計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
8:00~9:00 9:00~10:00 12:00~13:00 15:00~16:00 18:00~19:00	1台	17:00~18:00	22:00~23:00	単独テナント	必要なし	0

- ク 経路の設定等
- (ア) 車両関係

a 来客車関係

あり	配置	チラシ配布	回避	非回避	-	あり
案内表示の設置	交通整理員の配置	情報提供	生活道路の回避	通学路の回避	療養施設等の回避	右折経路

b 搬出入車両関係

通学路との交錯 登下校時間の運行 登下校時間の交通整理員 あり あり 非配備

※非配備の場合等の対応

通学時間帯の搬入をできる限り避けるよう計画します。

c バス・タクシー等交通機関関係

停車場の確保

バス・タクシー等の停留所なし

d 地方公共団体・公共交通事業者の事業関係

パークアンドライド事業等への協力

事業なし

評価

(イ) 歩行者通行関係

通り抜け可能通路の保持	通行妨害施設	閉店後の夜間照明の設置
必要なし	なし	必要なし

評価

(ウ) 廃棄物・リサイクル関係

 廃棄物減量化計画
 リサイクル活動推進計画

 実施
 実施

評価

- (エ) 防災・防犯対策への協力
- a 防災への協力

避難場所の提供	物資の緊急提供	その他
締結可能	検討なし	

b 防犯への協力

Γ	夜間照明の配置	警備員等の巡回	その他
	-	-	<u> </u>

評価

- 2 生活環境悪化防止関係
- (1) 騒音発生に係る事項
- ア 騒音問題対応策
- (ア)一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
北方面	18 m	なし	廃棄物収集作業	なし	なし	-
北方面	15 m	なし	車両走行	なし	なし	-
東方面	9 m	なし	車両走行	なし	なし	-
南東方面	12 m	12 m	車両走行	なし	なし	-
南方面	20 m	なし	車両走行	なし	なし	-
西方面	55 m	なし	車両走行	なし	なし	-

遮音壁の影響 | **遮音壁設置なし**

(イ)営業活動の騒音対策

早朝・深夜荷捌きの有無	はし
荷捌作業運営面での配慮	アイドリング・ストップを徹底する等、騒音防止意識の周知・徹底
放送設備使用面での配慮	屋外放送なし

(ウ)付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機等からの騒音配慮	低騒音型の機器の導入に努めます。
給排気口等からの騒音配慮	吹出し、吸込み口の形状検討
駐車場からの騒音配慮	周辺道路との段差をなくす
廃棄物収集作業等に伴う騒音配慮	夜間帯における収集作業は行わない計画です。
経年劣化等の事後対策	定常騒音の発生源となる機器については、定期点検を行い異常騒音の発生 防止に努めます。

イ 騒音の予測評価

		1 W101 1m										
予	定常騒音	空調機室外機	15	冷却塔		給排気口	25	変電施設	浄化槽	ポンプ		
測	化市凞日	冷凍機室外機	5	キュービクル	1							
対		自動車走行	0	後進警報ブザー	0	台車走行		BGM	アナウンス			
象		ゴミ収集作業	0	アイト゛リンク゛	0							
騒	新數 联立	荷降し音	0	台車走行	0							
音												
建物	の構造(高さ)	鉄骨造2階級	建(9	.78m)								

(ア)等価騒音レベル予測

		北(A)	北(B)	東(C)	南東(D)	南(E)	西(F)
	用途地域	第2種住居地域	第2種住居地域	第2種住居地域	第2種住居地域	第2種中高層住居専用地域	第2種住居地域
	昼間基準値	55 dB	55 dB				
	夜間基準値	45 dB	45 dB				
設	昼間等価騒音レベル	46.2 dB	41.5 dB	44.4 dB	48.0 dB	44.6 dB	48.3 dB
以完	評価	0	0	0	0	0	0
置者	夜間等価騒音レベル	25.1 dB	20.9 dB	21.4 dB	28.5 dB	33.1 dB	36.4 dB
18	評価	0	0	0	0	0	0
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当	妥当	妥当
ᅏ	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当	妥当	妥当

※基準値を超えた場合の対応等 昼間、夜間ともに全ての地点で等価騒音レベルが環境基準を下回ります。したがって、周辺住宅への著しい影響は無いものと考えます。なお、周辺住民より苦情があった場合は真摯に対応いたします。

(イ)夜間における騒音ごとの予測

	TIP PAINT OUT ON A PAINT							
A R	A 商工系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所、図書館、特別養護老人ホームの有無					無		
В	B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か						##	
上訂	上記A·Bの具体的内容 一							
北(a) 北(b) 東(c) 南東(d) 南(e) 西				西(f)				
	用途地域	第2種住居地域	第2種住居地域	第2種住居地域	第2種住居地域	第2種住居地域	第2種住居地域	
基	準値を5dB減ずる要因	なし	なし	なし	なし	なし	なし	
	基準値	40dB	40dB	40dB	40dB	40dB	40dB	
設	定常騒音の騒音レベル(合成値)	28.8 dB	22.4 dB	21.4 dB	28.5 dB	38.0 dB	37.1 dB	
	評価	0	0	0	0	0	0	
置者	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	_	-	_	-	_	_	
111	評価	_	_	_	_	_	_	
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当	妥当	妥当]
不	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	_	_	_	_	_	_]

※基準値を超えた場合の対応等 全ての地点で規制基準を満足します。したがって、周辺住宅への著しい影響は無いものと考えております。なお、周辺住民より苦情があった場合は真摯に対応いたします。

(2) 廃棄物関係

ア 廃棄物等の保管について

	店舗から排出される生ごみ等はごくわずかです。また、ポリ袋で密閉保管の上、翌日には 回収し、従業員による清掃を毎日行います。
衛生問題関係配慮	従業員により毎日清掃を行います。

(ア)小売店舗の必要保管容量

a 指針に分類される廃棄物等

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用	9.00 m	1日	0.250 t	0.10 t/m³	2.50 m ³	変更なし	0
金属製廃棄物用		1日	0.008 t	0.10 t/m [*]	0.08 m [*]	変更なし	0
ガラス製廃棄物用		1日	0.007 t	0.10 t/m [*]	0.07 m ³	変更なし	0
プラスチック製廃棄物用		1日	0.024 t	0.01 t/m	2.40 m ³	変更なし	0
生ごみ用	4.50 m³	1日	0.203 t	0.55 t∕m³	0.37 m ³	変更なし	0
その他可燃性廃棄物用		1日	0.065 t	0.38 t∕m³	0.17 m	変更なし	0
合計	13.50 m ³	-	-	1	5.59 m ³	_	0
保管日数の設定根拠 既存の実績に基づく							
見かけ比重変更の理由 変更なし							
指針と異なる算定式の使用 変更なし							

(イ)小売店舗から排出される廃棄物の増減要因

(T/T) Camb Diffective Exployally Se					
廃棄物排出量を 減少 させる要	因	廃棄物排出量を 増加 させる要因			
レジ袋削減の実施	あり	空缶・空き瓶の回収箱設置	なし		
ダンボール不使用納品の実施	なし	食品トレーの回収箱設置	なし		
生ゴミ堆肥化施設の使用	なし	ペットボトルの回収箱設置	なし		
廃棄物等圧縮機の使用	なし	食品加工場の設置	なし		
脱水装置の使用	なし	物販店以外の施設との保管施設の共有	なし		
その他	なし	その他	なし		

※その他廃棄物減量化及びリサイクル等に係る取組み

- ・搬入時に発生する梱包材は、搬入業者が回収するようにし、資源リサイクルに努めます。
- ・少量の商品をお買い上げのお客さまにはシールで対応する等、レジ袋の削減に努めます。
- ・店舗から発生するダンボール、空き缶、空き瓶等は分別保管し、リサイクル業者に引き渡す計画です。
- ・『容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器包装リサイクル法)』に則り、廃棄物の減量化及び資源化に努めます。

(エ)廃棄物保管施設の位置・構造

位	種類・処理方法ごとの分別の実施	分別廃棄を実施
置	搬出作業の利便性の確保	特になし
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保	夜間及び早朝作業は控える
構		はし
造	生ゴミ保管施設の密閉性の確保	なし

イ 廃棄物等の運搬や処理について

一 1 廃業物等の建版や処理についく	•
十分な搬送頻度の確保	特になし
繁忙期の特別な措置	特になし
運搬(予定)業者(免許番号)	未定
運搬業者・処理業者に対する情報提供	特になし
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	なし

(3) 街づくり等への配慮

街並みづくり等への配慮	外観・色彩等 屋外広告物条例を遵守します。
日型のフィッ寺への配慮	□環境美化活動 ○ 計画施設周辺の清掃等、街並みの美化に努めます。
市町村等の公的計画への協力	協力要請があれば検討します。
	必要最小限の点灯計画とし、周辺住居に光が差し込まないよう配慮します。
敷地内の緑地計画	敷地内に約40㎡設置予定。

評価

市町村の意見概要	対応			
意見なし				
住民等の意見の概要	対応			
意見なし	1			
県の意見案				
意見な!				